

「なんかええやん 神戸北高」～R3学校経営の重点～

1 教育目標とめざす生徒像、重点的な取組

(1) 教育目標とめざす生徒像

ア 教育目標

未来への道を切り拓く力を身につけた、日本の明日を担うところ豊かな生徒の育成

イ めざす生徒像

(ア) 社会に貢献できる生徒

(イ) 自尊感情を持ち、生きる力を身につけた生徒

(ウ) 基礎基本を身につけ、自ら判断して行動できる生徒

(2) 重点的な取組

「SDGs に基づいた教育活動」



17の目標については、
最終ページを参照



本校で行う全ての教育活動・行事について、国連のSDGs 17の各目標との関連を確認し、日本のSDGs 達成に貢献する意識を持つ。

2 学校経営の重点

(1) 開かれた学校づくり

ア 地域の人的・物的資源を活用するとともに、地域に開かれた学校づくりを進める。

イ 保・幼・小・中・自治会と連携し、地域の拠点として各行事に協力・参加する。

ウ 学校関係者評価を活用し、学校の活性化につなげる。

(2) 生徒の自主・自律・共生の育成

ア 生活習慣を正し、校内外における挨拶を含めたマナー指導を徹底させることで、高校生としての姿を確立させる。

イ 学業と部活動を両立させ、バランスのとれた高校生活を過ごさせる。

ウ 人権教育の充実を図り、ともに生きる心を育む。

(3) 特色化の一層の推進

ア 福祉ボランティア類型の一層の充実を図る。

イ 「なんかええやん 神戸北高」を合い言葉に、魅力的な学校づくりを推進する。

ウ 外国の学校との交流を実施する。

(4) 授業第一主義と確かな学力の定着

- ア 確かな学力を培う「魅力ある授業」を創造する。
- イ 予習・授業・復習の学習サイクルを定着させる。
- ウ 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成する。

(5) 安心して過ごせる安全な学校づくり

- ア 家庭・地域・関係機関との連携を図り、生徒を見守る体制を構築する。
- イ より実践的な安全教育・防災教育を行い、教職員・生徒ともに、危機対応力を高める。
- ウ 環境教育を一層推進するとともに、環境美化に努め、施設・設備を大切に使う公共心を育む。

(6) 活力ある組織と明るく働きやすい職場づくり

- ア 報告・連絡・相談を密にし、風通しの良い職場にする。
- イ 勤務の適正化により、生徒と向き合う時間を確保する。
- ウ 服務規律を確保し、県民の信頼を損なわないようにするとともに、教職員の資質・能力の向上に務める。

3 教科指導および生徒指導(特別教育活動を含む)の重点

(1) 教科指導の重点

ア 基本方針

基礎・基本の定着を図り、自ら学び、自ら考える力と、生涯にわたって学び続ける自己教育力を育成し、「生きる力」を持った魅力ある生徒を育成する。

イ 学習指導の充実

- (ア) 教育内容の基礎・基本を確実に定着させるとともに、体験的な学習を取り入れ、学ぶことの楽しさや達成感が味わえる授業の実現を目指す。
- (イ) 規律ある授業を通じて、自学自習の姿勢を確立させるとともに、きめ細かく個を生かす学習指導を実践する。
- (ウ) 学習の主体は生徒自身であることを認識させ、自己の人生目標を探究し、生涯を通じ積極的に学び続けようとする意欲を醸成する。

(2) 生徒指導の重点

ア 基本方針

生徒の規範意識と自己肯定感を高め、可能性を引き出し、社会でたくましく生きていくことができる能力を育む。そのためには、教職員と生徒とが愛情と信頼で結ばれたうえで、生徒一人一人を大切にするきめ細やかな指導に務める。

イ 生徒指導の徹底

- (ア) 個人面談や家庭との連携を密にし、生徒指導の徹底を図る。
- (イ) 基本的生活習慣の確立と集団の一員としての自覚を高め、規律を遵守する態度を養う。
- (ウ) 在り方・生き方を深く考えるとともに、自ら判断し、行動し、その結果については責任が取れる自律した生徒を育てる。

ウ 進路指導の充実

- (ア) 教職員の生徒理解、生徒の自己理解を深めるなかで、適性、意欲、興味・関心を進路設計に役立たせ、自己実現を図らせる。
- (イ) 能力・適性に応じた進路選択を進めるため、情報の収集とその効果的な利用を図り、各自の早期進路決定を促す。

エ 特別活動の促進

- (ア) 学校行事への積極的な参加により、愛校心を高め、責任感を自覚させるとともに、集団活動を通じて、望ましい社会性を培う。

- (イ) ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事・部活動を活性化し、生徒の自主性を高め、積極的な学校生活の中に堅実な校風を樹立させる。

4 健康管理に関する指導の重点

- (1) 健康の保持増進と自己管理ができる能力を養う。
- (2) 命を大切にすることを育む教育をすすめる。
- (3) 教育相談を活用し、心のバランスを崩しがちな生徒への支援を強化する。

5 研究テーマ

- (1) 「心のサポートシステム」研究開発校

- ア テーマ

「自殺予防を核に据えた、生徒への指導の研究」

- イ 方針

「学校生活における体験活動や、『自殺予防に生かせる教育プログラム』を活用し、予防活動を充実させるとともに教員の指導のあり方に工夫を加えることで、生徒の自己有用感や自尊感情は高まるであろう」との仮説を設定し、それを検証するための研究を行う。

- (2) 「ひょうご学力向上サポート事業」指定校

- ア テーマ

「効果的な教材及び学習方法を研究し、基礎・基本を着実に定着させる」

- イ 方針

- (ア) 学校全体で、学力や勉学に対して前向きな生徒を増やす。具体的には、「YDK(やればできるやん神戸北高生)プロジェクト」を展開。
- (イ) YDKプロジェクトでは、基礎基本の定着を目指す。客観的指標として、ベネッセGTZ「D3ゾーン」からの脱却を、極力Dゾーンからの脱却を目指す。
- (ウ) 令和2年度より、生徒の部活動の一つとしての「学力向上委員会」を設置し、大学等の外部も含めた学習活動を展開する。
- (イ) 若手教員への組織的な支援を行うことを通して、授業改善への意欲の高い教員集団を作り上げる。

6 高校生ふるさと貢献活動事業で実施する内容

- (1) 里山づくり

17年目を迎える伝統行事(R元年度に経過年数を見直し)。地域のボランティアの方々の指導のもと、里山に関して学んだり、里山整備の一翼を担う。部活動部員を中心に、年6回程度実施する。

- (2) 地域花壇整備や地域清掃等の美化活動

- ア 通学路ロータリー花壇の整備。

生徒、PTA、地域住民が共同して、通学路にあるロータリーの花壇で季節の花を作り、地域社会との交流・連携を深める。

- イ 唐櫃地区の学校園合同で、「クリーンキャンペーン」を実施。

- (3) あいさつ運動

登校時あいさつ運動の実施と地域の「からと あいさつ運動」への参加。

- (4) 唐櫃台地域合同防災活動

「からとは一つ」の言葉のもとに、市立からと保育所、市立からと幼稚園、市立唐櫃小学校、市立唐櫃中学校および唐櫃台防災コミュニティと連携し、北消防署および北消防団有野支団の協力により、11月に本校を舞台に大規模な合同防災訓練を実施する。

(5) ふるさと貢献ボランティア活動

ア 唐櫃台の「こども食堂」での補助を行う。

イ 市立からと児童館、カトレア六甲などの夏祭り運営補助を行う。

(6) 餅つき・凧揚げ大会

年頭の地域の行事に、生徒会、ボランティア委員会、野球部等の生徒が参加する。

7 高校生就業体験事業で実施する内容

(1) 就業体験実習

地域の企業・病院・福祉施設といった事業所を中心に、2学年で就業体験実習を行う。

事前学習として、進路適性検査、生徒・保護者との面談、参加の心構えの指導等を実施。

事後学習としては、実習のまとめを作成して報告するとともに、キャリア・アドバイザー等による進路相談を実施する。

(2) 進路講演会

職業人、専門学校教員、キャリア・アドバイザー等を招き、職業や進路選択への理解を深める。

8 高校生キャリアノートの活用に関する内容

(1) 内容の共通理解

各学年の進路係を中心に、活用計画を立てる。

(2) 活用目標

各学年において、LHRや総合的な学習の時間を利用して活用する。

9 県立高校特色づくり推進事業 ～インスパイア・ハイスクール～ で実施する内容

(1) 外部講師による講義を設定し、幼児教育や介護について理解を深める。

(2) 地域と連携したボランティア活動等を実施することで、社会の一員である自覚と責任感を養うとともに、奉仕精神や自己の生き方在り方について考える力を身に付けさせる。

ア 「オオムラサキ・プロジェクト」の推進

(ア) 本校内に大型ケージを設置し、国蝶であるオオムラサキを羽化させる。やがては、羽化後に放蝶を行い、「地域のオオムラサキ」を目指す。

(イ) ササユリや、オオムラサキの食木であるエノキの保護活動。

(ウ) オオムラサキの幼虫飼育、羽化、放蝶に向けて、丹波の森公苑等と連携して事業を進める。

イ 「からとの星の観察会」の実施

市立唐櫃小学校生が本校を訪れ、天体望遠鏡・プラネタリウム観察等の体験活動を行う。

(3) 近隣中学校とのバスケット部・吹奏楽部の合同練習会

技術面やメンタル面などの向上を図るとともに、仲間意識の醸成を図る。

《参考資料》



Sustainable Development Goals 17の目標

持続可能な(=目先のことではなく、将来にわたって目標として続けられるような)開発目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	1. 貧困をなくそう	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
<p>2 飢餓をゼロに</p>	2. 飢餓をゼロに	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	3. すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	4. 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	5. ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	6. 安全な水とトイレを世界中に	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
<p>8 働きがいも経済成長も</p>	8. 働きがいも経済成長も	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>10. 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>国内および国家間の格差を是正する</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11. 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12. つくる責任つかう責任</p>	<p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>13. 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>14. 海の豊かさを守ろう</p>	<p>海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p>
 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>15. 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>16. 平和と公正をすべての人に</p>	<p>持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>
 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>17. パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

※ SDGs は、2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 か国が、2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標。